

厚生労働科学研究費補助金
(医薬品・医療機器等レギュラトリーサイエンス政策研究事業)
分担研究報告書

健康サポート薬局での口腔の健康サポートによる医療費・歯科医療費への影響評価の検討

研究分担者 浜田 将太

一般財団法人 医療経済研究・社会保険福祉協会 医療経済研究機構 研究部 担当部長

研究要旨

本研究では、薬局における口腔の健康サポートが地域住民の医療費・歯科医療費に及ぼす影響を文献調査と本事業で実施した薬剤師による介入研究の結果に基づき考察した。文献調査では、歯科受診率向上、オーラルフレイル改善、歯周管理が中長期的な医療費・歯科医療費抑制に繋がる可能性が示唆された。介入研究では、薬剤師のサポートによる短期的な歯科受診率の向上に加えて、薬剤師による口腔の健康サポート又はパンフレット配布のいずれにおいてもオーラルフレイルのリスクのある者が減少する可能性が示されたことから、薬局での口腔の健康サポートは、短期的な費用増加の可能性があるものの、歯科受診率の向上を通じて、中長期的な視点では健康改善と医療費・歯科医療費の抑制に貢献する可能性があると考えられた。今後、中長期的な分析期間を設定した上での定量的なデータに基づく費用対効果の検証が必要である。

A. 研究目的

本研究の目的は、薬局における口腔の健康サポートが地域住民の医療費・歯科医療費に及ぼす影響を文献調査と本事業で実施した薬剤師による介入研究の結果に基づき考察することである。

B. 研究方法

本考察は、日本における歯科関連サービスの利用や費用に関する複数の文献情報を検索するとともに、「口腔の健康に関する研修」を修了した薬剤師が地域住民の口腔の健康サポートを行う介入研究の結果に基づいて行う。文献調査は昨年度も実施したものの、今年度は本事業での介入研究での評価項目や結果に基づき、歯科受診率やオー

ラルフレイル等に焦点を当てて、薬局での口腔の健康サポートが医療費・歯科医療費に与える影響を検討する。

C. 研究成果

(1) 歯科受診率の向上と費用

歯周病検診や地域ベースの口腔検診プログラムの受診券送付は歯科受診率の向上に寄与する可能性がある^{1, 2}。

薬剤師による口腔の健康サポートが同様の効果を持つ場合、短期的にはこれまで受診していなかった住民が新たに歯科医療サービスを利用することで、歯科医療費が増大する可能性がある。

しかし、早期の受診は、結果として重症化を防ぎ、将来的な高額な歯科治療費や、口腔

状態悪化に伴う全身疾患の医療費を抑制する可能性が期待される。

(2) 歯周病と全身疾患の医療費

歯周病が特に糖尿病患者の医療費と関連していること、また歯周管理が医療費の削減や入院、インスリン治療の導入抑制と関連していたことが報告されている^{3, 4}。

薬局での口腔の健康サポートが歯周病の早期発見・管理を促す場合、中長期的にこれらの患者の医療費抑制に貢献する可能性がある。糖尿病患者において、歯周病ケアと透析開始のリスク低下との関連も報告されており⁵、長期的な医療費抑制の観点から重要である。

(3) オーラルフレイルと医療費

オーラルフレイルが高齢者の歯科医療費だけでなく、医療費の増加とも関連することが示されている^{6, 7}。

本事業の介入研究において、薬剤師による口腔の健康サポート又はパンフレット配布のいずれにおいてもオーラルフレイルのリスクのある者が減少する可能性が示されたことから、中長期的に医療費・歯科医療費の抑制に寄与する可能性があると考えられる。

(4) 歯科受診と介護費用

予防的な歯科受診と介護費用の削減との関連が示されている⁸。

薬剤師によるサポートが高齢者の予防歯科受診を促す場合、介護費用の抑制につながる可能性がある。

引用文献：

1. Tamada Y, et al. Public Periodontal Screening Increases Subsequent Regular Dental Visits:

The Life Study. *JDR Clin Trans Res.* 2025;10(2):180-189.

2. Ishimaru M, et al. Impact of sending vouchers for a community-based oral screening program on dental service usage promotion among adults: a difference-in-difference analysis. *BMC Health Serv Res.* 2024;24(1):1651.
3. Kinugawa A, et al. Differences in health care expenditure due to the comorbidity status of periodontal disease and diabetes mellitus. *J Periodontol.* 2025 Jan 18. doi: 10.1002/JPER.24-0496.
4. Shin JH, et al. Effects of periodontal management for patients with type 2 diabetes on healthcare expenditure, hospitalization and worsening of diabetes: an observational study using medical, dental and pharmacy claims data in Japan. *J Clin Periodontol.* 2021;48(6):774-784.
5. Kusama T, Tamada Y, Osaka K, Takeuchi K. Periodontal Care Is Associated With a Lower Risk of Dialysis Initiation in Middle-Aged Patients With Type 2 Diabetes Mellitus: A 6-Year Follow-Up Cohort Study Based on a Nationwide Healthcare Database. *J Clin Periodontol.* 2025 May;52(5):717-726. doi: 10.1111/jcpe.14105. Epub 2025 Jan 5. PMID: 39757133; PMCID: PMC12003055.
6. Arai E, et al. Association of oral frailty with medical expenditure in older Japanese adults: The study of late-stage older adults in Tottori (START Tottori). *Gerodontology.* 2025;42(1):61-70.
7. Doi T, et al. The relationship between subjective oral frailty and adverse health outcomes or medical and dental expenditures in the latter-stage older adult: A 6-year longitudinal study. *Clin Exp Dent Res.*

2023;9(2):349-357.

8. Kiuchi S, et al. Differences in Cumulative Long-Term Care Costs by Dental Visit Pattern Among Japanese Older Adults: The JAGES Cohort Study. J Gerontol A Biol Sci Med Sci. 2024;79(9):glae194.

D. 考察・結論

本事業で実施した介入研究の結果は、薬剤師による口腔の健康サポートが、少なくとも短期的には地域住民の歯科受診率を向上させる効果があることを示唆している。それは薬局における口腔の健康サポートが短期的な費用増大の可能性のあることを示唆している。一方で、中長期的な視点では医療費・歯科医療費の抑制に貢献する可能性があると考えられた。また、オーラルフレイルや介護費用に関する先行研究から、口腔の健康サポートの経済的影響はオーラルフレイルの改善や介護費用の抑制にも及び、歯科医療費だけではなく、広範囲な費用評価を行うべきであることが示唆される。したがって、費用評価においては、短期的な受診率向上による費用増大と、中長期的な重症化予防や全身疾患管理による費用抑制の両面があることは重要である。今後、中長期的な分析期間を設定した上での定量的なデータに基づく費用対効果の検証が必要である。

E. 研究発表

1. 論文発表
なし
2. 学会発表
なし

F. 知的財産権の出願・登録状況

1. 特許取得

なし

2. 実用新案登録

なし

3. その他

なし